

7月26日：ベトナム株は反発するも、投資家は慎重な姿勢を維持

大引け前に一部の大型株に買いが入ったことで、ベトナム株はプラス圏で取引を終えた。しかし買い材料が不足する中で、投資家は短期的な見通しに慎重な姿勢を維持した。

ホーチミン市場のVN指数は0.31%高の1,272.71ポイントだった。

同指数は先週2.34%下落していた。

「株式市場は方向性を欠いている。売られるたびに、あまり強くないが買い需要が現れる」（金融サイトのcafef.vn）

「新型コロナの感染拡大とそれによる第2四半期決算への悪影響の中で、買い材料は不足している」（アグリバンク証券の専門家、Nguyen Anh Khoa氏）

「最近の出来高は20兆ドンを少し下回った。これは多くの資金がマーケットから引き揚げられていることを示している。新型コロナの感染者数は依然として増加しており、このトレンドは短期的に続くと予測される」（同氏）

「しかし、政府によって感染防止策が実施されており、この感染者数の急増はすぐ抑えられるだろう。これは投資家心理の安定に繋がる」（同氏）

騰落別では売り買いは拮抗し、190銘柄が上昇、182銘柄が下落した。

出来高は低水準で、売買高は16兆ドン超、売買代金は5億850万ドン超だった。

VN30指数は0.17%高の1,403.96ポイントだった。

同指数採用銘柄のうち、16銘柄が上昇、12銘柄が下落した。

組入銘柄の中で最も上昇したのは、ノバランド不動産投資グループ（NVL）で4%を超える上昇となった。それに続いてFPTグループ（FPT）が3%超、ファットダット不動産開発（PDR）とカンディエン不動産（KDH）はそれぞれ2%超、タインタインコン・ビエンホア製糖（SBT）、ビナミルク（VHM）、リー冷蔵電気工業（REE）は全て1%以上値上がりした。

一方で、多くの銀行株が下落した。VPバンク（VPB）は3%を超える下落となり下落率トップ。軍隊商業銀行（MBB）は2%を超える下落となった。

セクター別では、全25業種のうち卸売、保険、不動産、情報技術、ヘルスケア、鉱業、ゴム製品、水産加工、物流、建設といった16業種が上昇。

その一方で、小売、銀行、農業、証券セクターが下落した。

ハノイ市場のHNX指数も0.36%高の302.88ポイントだった。

同指数は先週1.95%下落していた。

売買高は約7,160万株で、売買代金は1兆6,000億ドンとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。